

会告 I

第 61 回日本輸血・細胞治療学会総会のご案内 (第 5 報)

会員各位

第 61 回日本輸血・細胞治療学会総会は「輸血療法 100 年 今後の課題」をテーマに神奈川県横浜市で開催します。今年アルゼンチンの Agote 先生がクエン酸による血液体外保存を発見され、輸血の臨床応用が可能になって、丁度 100 年目に当たります。100 年後にも変わらずに使用される発見というのは大変なことだとの思いを強くしています。

この記念すべき年に横浜の地で、本学会を開催できることを嬉しく思います。

幸い、多くの一般演題を登録いただきました。大量出血治療対策や学会認定・臨床輸血看護師の発表が増えています。輸血医学との直接的な関係は薄いのですが、特別講演にはアフガニスタンで活躍している同級の中村哲君に現状報告をお願いしました。

本総会の企画の目玉として、認定輸血検査技師のためのリフレッシュ・コースを行います。また、共催企業のご支援により、内容的に大変充実した講演も多数企画することが出来ました。

輸血医学と皆様の発展に役立てていただけることを心から願い、多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

記

第 61 回日本輸血・細胞治療学会総会
総会長 稲葉 頌一
(神奈川県赤十字血液センター 所長)

コングレスバッグのお知らせ

コングレスバッグはキタムラ K2 の右トートバッグを準備しております。参加登録時にお受け取りください。
(H35×W26×D10cm, コン/アカ)



会 期：2013年（平成25年）5月16日（木）～18日（土）

会 場：パシフィコ横浜
〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1
TEL：045-221-2155
<http://www.pacifico.co.jp/>

総 会 長：稲葉 頌一（神奈川県赤十字血液センター）

事務局長：牧野 茂義（虎の門病院）

プログラム概要（一部仮題） ※敬称略

- 総会長講演（PL）5月16日（木）13：20～14：20
「わが輸血屋人生」
座長：十字 猛夫（日本赤十字社中央血液研究所）
演者：稲葉 頌一（神奈川県赤十字血液センター）
- 特別講演1（SL-1）5月17日（金）10：50～11：50
「アフガンに命の水を」
座長：稲葉 頌一（神奈川県赤十字血液センター）
演者：中村 哲（PMS 総院長，ベシヤワール会現地代表）
- 特別講演2（SL-2）5月17日（金）13：10～14：10
「超少子高齢化社会の地域がん対策とバイオバンク・コホート研究事業」
座長：浅井 隆善（千葉県赤十字血液センター）
演者：中川原 章（千葉県がんセンター）
- 特別講演3（SL-3）5月17日（金）14：20～15：20
血液センターブロック化一年の経験
座長：池田 久實（日本赤十字社 北海道赤十字血液センター）
演者：西本 至（日本赤十字社 血液事業本部）
- 特別講演4（SL-4）5月17日（金）15：30～16：30
「The Red Cell Storage Lesion：What is the Clinical Significance？」
座長：高本 滋（日本赤十字社 北海道ブロック血液センター）
演者：James P. AuBuchon（Puget Sound Blood Center）
- 特別講演5（SL-5）5月17日（金）16：40～17：40
「Update of National Hemovigilance System in Korea」
座長：佐竹 正博（日本赤十字社中央血液研究所）
演者：Kyou-Sup Han（Seoul National University, Korea）
- 第12回村上記念賞受賞講演（ML）5月16日（木）11：00～12：00
座長：高橋 孝喜（東京大学医学部附属病院 輸血部）
演者：柴田 洋一（埼玉県赤十字血液センター）
- 2013年学術奨励賞受賞講演（GL）5月16日（木）10：40～11：00
座長：半田 誠（慶應義塾大学医学部附属病院 輸血・細胞療法部）
演者：及川 伸治（日本赤十字社 東北ブロック血液センター）
- 教育講演1（EL-1）5月16日（木）14：30～15：30
神経疾患におけるアフェレーシスの有効性と意義
座長：豊嶋 崇徳（北海道大学 血液内科）
演者：藤原 一男（東北大学大学院医学系研究科多発性硬化症治療学寄附講座）
- 教育講演2（EL-2）5月16日（木）15：40～16：40

臍帯血移植の将来

座長：赤司 浩一（九州大学医学研究院 病態修復内科（第一内科））

演者：谷口 修一（虎の門病院血液内科）

●教育講演 3 (EL-3) 5月17日（金）10：50～11：50

iPS細胞を用いた細胞治療の可能性と課題

座長：前川 平（京都大学医学部附属病院 輸血細胞治療部）

演者：木村 貴文（京都大学 iPS細胞研究所）

●「大河内メモリアル」シンポジウム 1 (SY-1) 5月16日（木）08：50～10：30

HTLV-1の現状

座長：山口 一成（熊本大学発生医学研究所）

座長：佐藤 博行（長野赤十字血液センター）

イントロダクション：

大河内一雄先生の業績を辿る

佐藤 博行（長野赤十字血液センター）

シンポジスト：

- 1) 我が国における HTLV-1/ATL 研究の現状
渡邊 俊樹（東京大学大学院 新領域創成科学研究科メディカルゲノム専攻）
- 2) 献血者の抗体陽性率からみたキャリアの変遷
佐竹 正博（日本赤十字社中央血液研究所）
- 3) HTLV-1 感染症診断法の課題と対策
浜口 功（国立感染症研究所 血液・安全性研究部）
- 4) キャリア外来と ATL の最新の治療
内丸 薫（東京大学医科学研究所附属病院血液腫瘍内科）

●シンポジウム 2 (SY-2) 5月16日（木）14：30～16：30

産科出血への対応

座長：田中 政信（東邦大学医療センター大森病院産婦人科）

座長：松崎 浩史（東京都赤十字血液センター）

シンポジスト：

- 1) 分娩時の出血リスクと危険因子
田中 政信（東邦大学医療センター大森病院産婦人科）
- 2) 輸血療法を中心とした危機的産科出血に対する治療戦略
松永 茂剛（埼玉医科大学総合医療センター 総合周産期母子医療センター）
- 3) 産科危機的出血時の輸血療法（フィブリノゲン製剤の必要性）
鈴木 俊治（葛飾赤十字産院産婦人科）
- 4) 周産期における輸血インフォームド・コンセント
前村 俊満（東邦大学医療センター大森病院産婦人科）
- 5) 産科診療における自己血の有用性と問題点
松田 秀雄（松田母子クリニック）
- 6) 分娩出血に対する安全な輸血体制
田崎 哲典（東京慈恵会医科大学附属病院輸血部）
- 7) 血液型不適合妊娠の管理ガイドライン案
大戸 齊（福島県立医科大学輸血移植免疫学）

●シンポジウム 3 (SY-3) 5月17日（金）08：40～10：40

術中大量出血に対する管理法の進歩

座長：坂口 嘉郎（佐賀大学医学部麻酔・蘇生学教室）

座長：藤田 浩（東京都立墨東病院 輸血科）

シンポジスト：

- 1) 血液製剤投与開始前のマネージメント
小竹 良文（東邦大学医療センター大橋病院麻酔科）
- 2) 周術期輸血戦略の意思決定アルゴリズム
東 俊晴（国立国際医療研究センター国府台病院 麻酔科）
- 3) 術中大量出血に伴う凝固異常・止血能の評価
香取 信之（慶應義塾大学医学部麻酔学教室）
- 4) 外傷急性期における凝固線溶動態の把握に基づく damage control resuscitation
久志本成樹（東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座救急医学分野）
- 5) 麻酔科と輸血部との連携
大谷 慎一（北里大学医学部輸血・細胞移植学）

●シンポジウム 4 (SY-4) 5月17日（金）08：40～10：20

がん化学療法に伴う貧血に関する全国調査

座長：高橋 孝喜（東京大学医学部附属病院 輸血部）

座長：半田 誠（慶應義塾大学医学部附属病院 輸血・細胞療法部）

シンポジスト：

- 1) 本邦における赤血球輸血の現状
牧野 茂義（虎の門病院輸血部）
- 2) がん化学療法に伴う貧血に対する治療方針
勝俣 範之（日本医科大学武蔵小杉病院腫瘍内科）
- 3) がん化学療法に伴う貧血（CIA）に関する全国調査結果
田中 朝志（東京医科大学八王子医療センター輸血部）
- 4) がん化学療法にともなう貧血（CIA）に対する対策：本邦における現状と問題点
吉野 一郎（千葉大学大学院医学研究院呼吸器病態外科学）

●シンポジウム 5 (SY-5) 5月17日（金）08：40～10：40

患者中心の輸血医療（Patient Blood Management）

座長：紀野 修一（旭川医科大学病院臨床検査・輸血部）

座長：豊嶋 崇徳（北海道大学 血液内科）

シンポジスト：

- 1) 肝切除における新鮮凍結血漿の使用基準
森口 正倫（日本大学消化器外科）
- 2) 心臓血管外科手術における輸血：心臓外科医の立場から
益田 宗孝（横浜市立大学附属病院外科治療学・心臓血管外科）
- 3) トロンボエラストグラムを用いた人工心肺離脱後の血液凝固モニタリングの有用性
松尾 瑞佳（北里大学医学部麻酔科学教室）
- 4) 献血不足と Patient Blood Management
豊嶋 崇徳（北海道大学 血液内科）
- 5) Patient Blood Management における自己血輸血—その意義と課題
津野 寛和（東京大学医学部附属病院輸血部）

●シンポジウム 6 (SY-6) 5月17日（金）13：10～15：10

大量出血における止血重視の輸血療法

座長：前田 平生（埼玉医科大学総合医療センター 輸血・細胞治療部）

座長：松下 正（名古屋大学医学部附属病院輸血部）

シンポジスト：

- 1) 大量出血の増悪を招く急性凝固障害に対する最適輸血療法の検討
宮田 茂樹（国立循環器病研究センター）
- 2) 大量出血におけるクリオプレシピレートおよびフィブリノゲン製剤の投与効果
山本 晃士（名古屋大学医学部附属病院輸血部）

3) 全国輸血アンケート調査による大量輸血症例の現状
阿南 昌弘 (埼玉医科大学総合医療センター輸血・細胞治療部)

4) 出血時の凝固線溶系検査と補充療法
松下 正 (名古屋大学医学部附属病院輸血部)

●シンポジウム7 (SY-7) 5月17日 (金) 15:20~17:20

全国輸血アンケート調査からみた日本の輸血医療の変化

座長: 佐川 公矯 (佐賀県赤十字血液センター)

座長: 熊川みどり (福岡大学病院輸血部)

シンポジスト:

1) 輸血管理体制の整備状況

牧野 茂義 (虎の門病院輸血部)

2) 血液製剤の使用状況 (自己血を含む)

田中 朝志 (東京医科大学八王子医療センター輸血部)

3) 日本の過誤輸血の現状

米村 雄士 (熊本大学医学部附属病院輸血・細胞治療部)

4) 全国アンケート調査からみた日本の輸血医療の変化 —非溶血性副作用について—

紀野 修一 (旭川医科大学病院臨床検査・輸血部)

5) 院内細胞処理・凍結保存・保管

室井 一男 (自治医科大学附属病院輸血・細胞移植部)

●シンポジウム8 (SY-8) 5月18日 (土) 10:00~11:50

学会認定輸血看護師の活動状況と課題

座長: 田崎 哲典 (東京慈恵会医科大学附属病院輸血部)

座長: 奥山 美樹 (がん・感染症センター都立駒込病院輸血・細胞治療科)

シンポジスト:

1) 臨床輸血看護師としての活動状況

阪口 真紀 (大阪市立大学医学部附属病院)

2) 学会認定・臨床輸血看護師としての活動状況

高橋 理栄 (NTT 東日本札幌病院看護部)

3) 学会認定・臨床輸血看護師制度のアンケート調査 現状と評価

大久保光夫 (学会認定・臨床輸血看護師制度協議会)

4) アフェレーシスナーズの役割 —血液センター看護師としての制度との係わり—

岡村 弘子 (中四国ブロック血液センター技術管理課)

5) 学会認定・自己血輸血看護師資格取得後の活動状況と今後の課題

馬場 恭子 (聖路加国際病院泌尿器科外来)

6) 学会認定・臨床輸血看護師制度の将来像

大戸 齊 (福島県立医科大学輸血移植免疫学)

●シンポジウム9 (SY-9) 5月18日 (土) 10:00~11:50

合同輸血療法委員会の今後の展開

座長: 金森 平和 (神奈川県立がんセンター血液内科・輸血医療科)

座長: 面川 進 (秋田県赤十字血液センター)

シンポジスト:

1) 青森県合同輸血療法委員会の活動状況と今後の課題

北澤 淳一 (黒石市国民健康保険黒石病院輸血療法管理室)

2) 神奈川県合同輸血療法委員会における適正使用推進への取り組み

吉場 史朗 (東海大学医学部附属病院輸血室)

3) 福岡県における活動状況

熊川みどり (福岡大学病院輸血部)

- 4) 佐賀県合同輸血療法委員会の新しい取組み
東島 悦子 (佐賀県赤十字血液センター学術・品質情報課)
- 5) 新潟県における合同輸血療法委員会の活動状況
布施 一郎 (新潟大学医歯学総合病院輸血・再生医療部門)
- 6) 千葉県合同輸血療法委員会の活動
井関 徹 (千葉大学医学部附属病院輸血・細胞療法部)

●シンポジウム 10 (SY-10) 5月18日 (土) 13:20~15:20

本邦の血小板輸血と血小板製剤

座長: 半田 誠 (慶應義塾大学医学部附属病院 輸血・細胞療法部)

座長: 藤井 康彦 (山口大学医学部附属病院 輸血部)

シンポジスト:

- 1) 本邦における血小板製剤の規格の変遷と海外の状況
五十嵐 滋 (日本赤十字社血液事業本部)
- 2) 血小板製剤の単位数統一化のメリットとデメリット
奥山 美樹 (がん・感染症センター都立駒込病院輸血・細胞治療科)
- 3) ABO 不適合血小板輸血の現状と問題点
柏瀬 貢一 (日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター)
- 4) 洗浄血小板の製剤化の必要性
下平 滋隆 (信州大学医学部附属病院先端細胞治療センター)
- 5) ABO 不適合血小板輸血による溶血性副作用を経験して
品川 篤司 (株式会社日立製作所日立総合病院内科)

●ミニシンポジウム (MS) 5月18日 (土) 08:50~09:50

わが国の血液事業海外支援

座長: 沼田 芳彰 (日本赤十字社血液事業本部)

シンポジスト:

- 1) JICA の中米支援
布施 晃 (国立感染症研究所)
- 2) Progress of Lao Blood Program—Support of Japan Red Cross/日本赤十字社のラオス血液事業支援
Chanthala Souksakhone (ラオス赤十字血液センター)

●パネルディスカッション (PD) 5月16日 (木) 08:50~10:50

新鮮凍結血漿を有意義に使用するために

座長: 高松 純樹 (日本赤十字社 東海北陸ブロック血液センター)

座長: 入田 和男 (日本赤十字社 九州ブロック血液センター)

シンポジスト:

- 1) 肝硬変に対する凍結血漿製剤
泉 並木 (武蔵野赤十字病院)
- 2) 新鮮凍結血漿の有意義な使用: 術中出血に対する使用
稲田 英一 (順天堂大学大学院麻酔科学)
- 3) 肝移植レシピエントに対する新鮮凍結血漿使用
上本 伸二 (京都大学医学研究科外科学講座肝胆膵・移植外科学分野)
- 4) 後天性 TTP に対する血漿交換療法
松本 雅則 (奈良県立医科大学輸血部)
- 5) 線溶反応から考える新たな新鮮凍結血漿の使用法・Uncontrolled fibrinolysis の病態とその制御
内場 光浩 (熊本大学医学部附属病院 輸血・細胞治療部)

●ワークショップ (WS) 5月18日 (土) 13:20~15:20

貯血式自己血輸血—自己血輸血看護師制度の確立に向けて

(第19回学会認定・自己血輸血看護師制度協議会指定セミナー)

座長: 脇本 信博 (帝京大学医学部整形外科・輸血部)

座長：佐藤 忠嗣（横浜労災病院輸血部）

演者：

- 1) 学会認定・自己血輸血看護師制度の拡充と今後の課題
脇本 信博（帝京大学医学部整形外科・輸血部）
- 2) 安全な自己血輸血を目指して～当センターの現状から～
大野 里美（岐阜県総合医療センター看護部）
- 3) 奈良県立医科大学附属病院における自己血輸血の現状
島田 千和（奈良県立医科大学附属病院看護部）
- 4) 当院における自己血採血の現状
山下幸一郎（岡崎市民病院看護局）
- 5) 当センターにおける自己血輸血の現状について
二瓶 裕美（横浜市立大学附属市民総合医療センター看護部）
- 6) 外科手術血液準備式（SBOE）を利用した貯血式自己血輸血
鷗澤 陽子（帝京大学医学部附属病院 看護部）

●テクニカルセミナー（TS）5月16日（木）17：30～19：30

造血細胞移植に必要な細胞処理・検査に関する技術講習会

座長：室井 一男（自治医科大学附属病院輸血・細胞移植部）

座長：田野崎隆二（国立がん研究センター中央病院 臨床検査科）

演者：

- 1) 細胞処理に関する不具合について：骨髄バンクの事例（安全情報）のまとめ
金森 平和（神奈川県立がんセンター血液内科・輸血医療科）
- 2) 細胞の採取・処理・輸注に関する事例報告
奥山 美樹（がん・感染症センター都立駒込病院輸血・細胞治療科）
室井 一男（自治医科大学附属病院輸血・細胞移植部）
- 3) 細胞処理のための機器・試薬の精度管理から危機管理までの実際
伊藤 経夫（北海道大学病院 高度先進医療支援センター 研究開発推進部門）
- 4) 検査方法について
高梨美乃子（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）
- 5) 細胞採取から輸注・検査まで：Q & A
長村（井上）登紀子（東京大学医科学研究所附属病院 セルプロセッシング・輸血部）
岸野 光司（自治医科大学附属病院輸血・細胞移植部）
上村 知恵（慶應義塾大学病院輸血・細胞療法部）

●教育セミナー1（ES-1）5月16日（木）11：00～12：00

B型肝炎疾患概念の変遷

座長：菊地 秀（国立病院機構仙台医療センター）

演者：溝上 雅史（独立行政法人国立国際医療研究センター，肝炎・免疫研究センター）

●教育セミナー2（ES-2）5月16日（木）13：20～14：20

DNA Testing of Red Cell Antigen Genes; Improving Transfusion Therapy

座長：内川 誠（日本赤十字社 関東甲信越ブロック血液センター検査部）

演者：Steven R. Sloan（Children's Hospital Boston）

●教育セミナー3（ES-3）5月16日（木）13：20～14：20

B型肝炎における検査と病態

座長：鈴木 文孝（国家公務員共済組合連合会虎の門病院 肝臓内科）

演者：松本 晶博（信州大学附属病院 肝疾患診療相談センター）

●教育セミナー4（ES-4）5月16日（木）14：30～15：30

直接クームス陰性の自己免疫性溶血性貧血の診断と治療

座長：政氏 伸夫（北海道大学大学院保健科学研究院保健科学部門 病態解析学分野）

演者：亀崎 豊実（自治医科大学地域医療学センター）

●イブニングセミナー (Evs) 5月16日(木) 16:30~17:30

自己フィブリン糊の臨床応用と課題

座長: 小山 信彌 (東邦大学医療センター大森病院 循環器センター (心臓血管外科))

演者: 牧野 茂義 (虎の門病院輸血部)

●輸血検査技師リフレッシュコース 1 (RC-1) 5月17日(金) 13:10~15:15

輸血検査の現状と問題点 I

モデレーター: 東谷 孝徳 (佐賀大学医学部附属病院検査部)

モデレーター: 奥田 誠 (東邦大学医療センター大森病院輸血部)

プレゼンター:

- 1) 我が国の輸血検査の現状—日臨技精度管理調査結果より—
国分寺 晃 (広島国際大学保健医療学部)
- 2) 関東甲信越ブロック内医療機関の輸血検査に関するアンケート調査結果
瀬下 敏 (新潟県赤十字血液センター学術・品質情報課)
- 3) 輸血検査の標準化
高橋 智哉 (市立札幌病院 検査部)

さあ困った!こんな時どうする Part I

モデレーター: 岩尾 憲明 (山梨大学医学部附属病院 輸血細胞治療部)

モデレーター: 友田 豊 (旭川医科大学病院 臨床検査・輸血部)

モデレーター: 安藤 高宣 (愛知医科大学病院輸血部)

プレゼンター:

- 1) 輸血後 Hb 値の改善が認められない!
遠藤 輝夫 (札幌医科大学附属病院検査部)
- 2) 術中患者の追加輸血を依頼されたのに在庫の赤血球製剤が足りなくなった!
杉本 達哉 (東海大学医学部附属病院輸血室)
- 3) 輸血後呼吸困難に陥ってしまった!
藤本 昌子 (東京都立墨東病院)

●輸血検査技師リフレッシュコース 2 (RC-2) 5月18日(土) 8:50~10:30

輸血検査の現状と問題点 II

モデレーター: 安田 広康 (福島県立医科大学附属病院 輸血・移植免疫学講座)

モデレーター: 寺内 純一 (昭和大学藤が丘病院 血液センター)

プレゼンター:

- 1) 赤血球不規則抗体検査に関する共同研究報告
渡邊 弘子 (浜松医科大学医学部附属病院輸血細胞治療部)
- 2) 当院の不規則抗体検査における酵素法の位置づけ
岸野 光司 (自治医科大学附属病院輸血・細胞移植部)
- 3) 酵素法のみで検出される不規則抗体について
日高 陽子 (東邦大学医療センター大森病院輸血部)
- 4) DHTR/DSTR の頻度: PEG-IAT 法と LISS-IAT 法との比較
藤野 恵三 (大阪市立大学医学部附属病院 輸血部)

さあ困った!こんな時どうする Part II

モデレーター: 田中 朝志 (東京医科大学八王子医療センター輸血部)

モデレーター: 上村 知恵 (慶應義塾大学病院輸血・細胞療法部)

モデレーター: 石井 規子 (昭和大学横浜市北部病院 臨床検査部)

プレゼンター:

- 1) 新生児の交差適合試験で陽性になってしまった!
木村かよ子 (昭和大学藤が丘病院臨床検査部)

2) 血液型が判定できない！

福吉 葉子（熊本大学医学部附属病院輸血・細胞治療部）

3) 輸血されながら患者が転送してきた！

川畑 絹代（福島県立医科大学附属病院輸血・移植免疫部）

●市民公開講座（CL）5月18日（土）13：20～15：20

もっと知りたい輸血のこと

座長：大戸 齊（福島県立医科大学輸血移植免疫学）

座長：橋本 明子（NPO 法人血液情報広場・つばさ）

シンポジスト：

1) 血液製剤の基礎知識—血液製剤の種類と役割—

大久保理恵（神奈川県赤十字血液センター）

2) 今の輸血はどこまで安全か？—輸血副作用とインフォームド・コンセント—

牧野 茂義（虎の門病院輸血部）

3) ベッドサイドでの輸血について ～臨床輸血看護師の立場から～

松川恵梨子（横浜市立大学附属病院内科外来）

4) 血液疾患の新しい治療

宮川 義隆（慶應義塾大学医学部）

5) 血液型が変わる！造血幹細胞移植と輸血

豊嶋 崇徳（北海道大学 血液内科）

6) これからの輸血・細胞治療について —日本輸血・細胞治療学会の役割—

紀野 修一（旭川医科大学病院臨床検査・輸血部）

認定医試験受験予定者のための講習会

臨床輸血看護師試験受験予定者のためのガイダンス

アフエレーシスナース試験受験予定者のためのガイダンス

第61回総会本部：

神奈川県赤十字血液センター

〒243-0035 神奈川県厚木市愛甲 1837

TEL：046-228-9800 FAX：046-228-0310

第61回総会運営事務局（演題登録・展示申込等全般）：

株式会社 サンプラネット内

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-5-10 住友成泉小石川ビル7階

TEL：03-5940-2614 FAX：03-3942-6396

E-mail：61annual@sunpla-mcv.com

学会本部事務局（学会入会申込等）：

一般社団法人 日本輸血・細胞治療学会 事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-14-14 ユニテビル5階

TEL：03-5804-2611 FAX：03-5804-2612

E-mail：61annual@jstmct.or.jp